

オフィスにおける取り組み

理想科学は、オフィス（営業・サービス拠点など）においても、環境負荷低減に向けて、環境に配慮したさまざまな取り組みを行っています。

オフィスの環境負荷削減活動

理想科学は、日本全国に約50カ所の営業拠点を設けており、電力、ガスなどのエネルギーや水を使用しています。生産・開発拠点に比べ、使用量は少ないものの、社員の割合は過半数を占めることもあり、環境配慮に対する意識啓発を含め、さまざまな取り組みを推進しています。

オフィスにおける環境負荷（2006年度）

集計範囲：国内営業拠点（52カ所）

電力使用量：244.6万kwh

LPG使用量：807kg

都市ガス使用量：334m³

水道使用量：5,413m³

※なお、共同ビルのため数値把握が困難なデータ（とくに上水量、共益費に含まれている電気量など）は集計していません。

営業本部の環境活動

営業本部は、2005年度に5拠点で、2006年度には国内全営業拠点でISO14001認証取得しました。こうした中、2006年度は国内全営業拠点で具体的な環境目標を設定し、その達成に向けて活動を行いました。

グリーン購入法適合製品の販売拡大

目標：販売台数を2004年度比105%にする。

実績：104.9%（ほぼ達成）

社内業務用の紙の削減

目標：社内業務用の紙使用量を2004年度比5%削減し21,530kg以下にする。

実績：32%削減,15,521kg（達成）

廃棄物の削減

芝浦事業所の取り組み

芝浦事業所では、廃棄物の最終処分量を削減するため、2004年9月から、廃棄物の分別の徹底と再資源化を推進しています。廃棄物の分別種類を、それまでの6種類から10種類に増やし、専用容器の設置と表示を行い、ミックスペーパーやシュレッダーくずまでも再資源化しています。また、廃棄物の分別の徹底を図るため、社員に対する教育も実施しています。

2006年度の結果は、廃棄物排出量が2005年度とほぼ変わらず44.8t（2004年度比17%削減）、再利用率は3ポイント低下し37%でした。再利用率が低下した理由は事業所の組織配置が異動により業容が変化したことがありますが、引き続き環境負荷の低減に向けて方策を検討し取り組んでいきます。

グリーン購入の推進

文房具・事務用品を購入する際は、グリーン購入法への適合やエコマーク商品などの商品情報を参照のうえ購入しています。

グリーン購入金額（2006年度）

事業所	購入金額（購入割合）	
オフィス （本社を含む営業拠点）	4,448千円	（38%）
筑波事業所	978.4千円	（96.2%）
宇部事業所	480千円	（6.1%）
霞ヶ関事業所	30.5千円	（—*）

*分母となる購入総額を定義、集計していません。